

学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
2023年度 第1回学校関係者評価委員会

日 時 2023年4月29日（金）16:30~17:30

委 員 品濃町内会関係者様、西横浜国際病院関係者様、東戸塚記念病院関係者様、
亀田森の里病院関係者様、学校長、教務部部長、次長2名、ほか教職員6名

内 容

I. 校長挨拶

本年度第1回目の学校関係者評価委員会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本学では、3月に97名の卒業生を送り、2月の国家試験では現役合格率が理学療法学科98.6%・作業療法学科100%となり、全国平均を大きく上回ることができました。コロナもだいぶ落ち着いてまいりましたので、通常の対面授業も再開し、4月より新入生を迎えております。本日は、委員の方にご意見をいただきまして、本学の学校運営・教育に反映させていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

II. 自己評価表（全て資料に基づき報告）

2022年度の後期達成状況と2023年度前期に取り組むべき課題等について資料に示しました。

以下は、補足事項

1. 教育理念・目標（瀬古教務部部長）

- ・新指定規則該当学年がようやく全学年対象となりましたが作業療法学科では一部カリキュラムの変更がありました。

2. 学校運営（瀬古教務部部長）

- ・非常勤講師の出退勤ですが、2022年度後期までは「KING OF TIME」ではなく紙の出勤簿を使用していました。

3. 教育活動

【シラバス・カリキュラム（水島次長）】

資料参照

【教育力向上（田中課長補佐）】

- ・「授業力診断フォローアップセミナー」は、昨年度から岩崎学園で開始されました。
- ・基礎力リサーチ1回目報告会は、現時点では6月を予定しています。

【臨床実習（瀬戸山専門官）】

資料参照

【情報公開（水島次長）】

資料参照

4. 教育成果

【資格・卒業研究（田中課長補佐）】

- ・4/22（土）に実施した体力測定会に地域在住の高齢者の方が18名参加されました。
- ・ワールドトライアスロン横浜大会は5/13（土）・5/14（日）に開催予定で、本校では理学療法学科の学生が参加予定です。

【国家試験・卒業試験（須藤（美）専門教員）】

- ・資料参照

【臨床実習、留年・退学者防止、卒業生（中村次長・水島次長）】

- ・本校は、MTDLPの推進強化校となっています。
- ・Rリーグは、今年度より運用が開始されました。

5. 学生支援

【社会性（田中課長補佐）】

資料参照

【行事（机課長補佐）】

資料参照

【個別指導（水島次長）】

資料参照

【健康管理・防犯、就職支援、災害対策、経済援助・活動援助（瀬古教務部部長）】

- ・就職支援における年度内内定率だが、理学療法学科では1名が決まらず98.5%という数値になっています。
- ・履歴書添削システムは、“ChatGPT”を利用予定です。
- ・エバンジェリスト活動は、伝道師の意味もあるため、学校に戻ってきてから、どのような活動をしたか学内で伝えてもらったり、学生募集へも役立つ予定です。
- ・「学生生活まるごとポイント制度」は別名「Rリーグ」と言い、成績や出席、グループでの勉強会や学外での活動等をポイント対象として、グループで競わせる予定です。

6. 教育環境

【教室（武田専門官）】

資料参照

【図書、設備・備品（武田専門官）】

資料参照

7. 学生募集（瀬古教務部部長）

資料参照

8. 社会貢献

【地域貢献（水島次長）】

資料参照

9. 法令等の遵守

【法令遵守（瀬古教務部部長）】

資料参照

IV. 質問・意見

重田様：デジタル化が進む一方で、決起集会やポイント制度など楽しい学校生活が窺えました。実習前後の評価の部分で OSCE を行う予定とのことですが、実習前と後で同様の形式で行う予定でしょうか。

中村次長：3年次の前期末にある実技試験の結果が実習前 OSCE にあたります。単位認定の関係で OSCE が推奨されており、実習後に行うものに関しては単位認定のための OSCE となります。現在予定しているのは、実習前とは異なり医療面接と評価の二本立てで OSCE を実施し、その点数も加味して実習単位にする予定です。この実習前後の OSCE については、数年前から導入の話があったため、総合演習セミナーで、何回か外部講師もお招きして実施してきました。今年度から単位認定ということで4年生に実施します。その結果をもとにこれからも検討を加える予定です。今後も積極的に外部講師の参加もお待ちしております。よろしければご参加いただけますと幸いです。

藤井様：コロナがだいぶ明けてきて、5類になるということで色々な経験がだいぶできるようになったのかなと思いました。当院の方でも色々制限されていたものが緩和され、実習や外出をとまなうような活動もできるようになってきているので、学生さんの実習では今までできなかったこともさせてあげられるのかなと考えております。また、「学校まるごとポイント制度」に取り組まれているかと思いますが学生さんの反応はどんな感じなのかお聞かせいただきたいです。また、留年・退学者防止のところ、作業療法学科の偏差値が 37.2 というのは低いと思ったのですが、全体平均なのか強化組での平均なのか確認させていただきたいです。

瀬古教務部部長：正直、ポイント制度についての学生の反応は様々です。これを良しとする学生は、“R リーグキックオフ交流会”の時に大変盛り上がり、特に仲の良いグループになったものは、その後お誕生日会などを開いているようで、交流が盛んになっていました。一方で、そういったグループ活動に参加できない学生もいました。また、“R リーグ”の活動の中には“サンクスカード”をやりとりするようなシステムがあり、それらはデジタルで見れるようになっています。様子を見ている限りは、非常に楽しんでいる学生が多いように思います。本格的な運用に関しましては、これからとなります。

水島次長：作業療法学科の偏差値についてですが、強化組はクラスの下位層にあたるため、低い偏差値になっています。効果判定をするために前年期の総得点での偏差値と比較しており、2年生におきましては、半期前の偏差値よりは上がっていますが1年生は下がってしまい、より差が広がってしまうという結果になりました。“サンクスカード”については、好評で1日1サンクスみたいな形で、学生間でやり取りをして楽しんでいるようです。

藤井様：半期ごとの効果測定であるということを理解しました。交流の面は、コロナ禍で減ってしまっているととても感じていて、実際にコミュニケーション下手な新卒1年目もいるので、学生のうちからコミュニケーションが活発にできると良いなと思いましたので、ぜひ経過も教えていただければと思います。

松田様：いつも色々ありがとうございます。この間も“体力測定会”の連絡や“つなぐカフェ”を開催されていて、地域の皆さんがとても喜んで参加されており良かったなと思っております。近隣の中学校等で一緒に防災訓練をしています。日中に住民がいないこともあるため、岩崎学園の学生のみなさんが大きな力になるのではないかと考えていますので、今後もし良かったら一緒に防災訓練などをできたらいいなと思っております。また、日々子育て支援をしており、ママ達にも会っていますがコミュニケーション能力がすごく下がっているなと思っております。コロナ禍であることもあり、馴染めず産後うつから継続してうつになってしまっている方も多くいます。成人したママ達にどのようにしたら友達ができるかなどの質問をもらうこともあります。このようなことから、勉学とは異なる生きる力（友達作りなど）についても学ばしてあげるのもいいのかなと思いました。今後どうぞよろしく願いいたします。

戸羽様：すごく気になった点がありまして、地域貢献で“つなぐカフェ”を実施されているかと思うのですが、これに関わっていく学生達が社会人に向けてどのように変化していくのか。また、“つなぐカフェ”の内容自体が当初からどのようにバージョンアップをしたのか参考に教えていただきたいです。

机課長補佐：初代、“つなぐカフェ”の担当教員です。学生は誰かの役に立ちたいという気持ちをたくさん持っていて、それを成果として出せたらいいなというところでこのようなイベントを実施しています。一つの物を作り上げるという作業の中でうまくいったり、いかなかったりを経験しどのようにしたらいいかというのを教員と共に考え、フィードバックをその日のうちに返して次の課題を見つけていっています。当初、右も左も分からなからいところからはじまったため、教員からの提供が非常に多かったように思います。最近の“つなぐカフェ”ですが、学生が主体的にアイデアをもってくることも多くなったため、教員はサポートに徹し、学生がやりたいことを形にしてみ、それがうまくいかなかった時にはじめて教員からフィードバックをするということを繰り返していくことで、現在の方が学生メインで実施できているのではないかなと思っております。

戸羽様：とっても興味深いなと思ったのですが、学生が作り上げるとかそういった過程を踏むことで、地域の参加される側もみえてくるのがいっぱいある気がしますし、受け止め方も変わってくると思います。学生時代から意識してやっておくと、実際に職場に入った際もコミュニケーションがとりやすかったり、得意な学生が増えてくるといいなと非常に思いました。とても参考になりました。

中村次長：コミュニケーションはどんな場面でも大切な要素となるため、どうやって向上させていくか日々色んな考え方を参考にしながらトライしていきたいと思っておりますので、ぜひまたご協力の方をよろしく願いいたします。

V. その他

1. 次回の会議について（中村次長）

第2回の会議開催についてですが、2023年10月20日（金）16:30に開催する方向で調整させていただきたいと思っております。まだ先のことでは確定できないかと思っておりますがご予定をいただけますと幸いです。

2. 次年度の委嘱について（田中課長補佐）

現在、引き受けていただいている学校関係者評価委員ですが、今年の7月31日までが委嘱期間となっております。ぜひ、次の期間（2年間）も引き続き、引き受けていただけますと幸いです。別途、ご依頼の文書を送らせていただきますので、ご検討いただけますと幸いです。

3. 瀬古教務部部長挨拶

本日はお忙しい中、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。みなさんからいただいたご意見を元に、学校が活性化できていければよいと考えております。岩崎学園も少しずつ変わっておりますので、それにとまって本校も変わっていかねばいけないというところもあります。引き続きご意見・ご指導いただければと思います。本日はどうもありがとうございました。

以上

作成：植竹